

InfoUnity2 オブジェクト構成情報取得 API

使用方法

通常の DB に接続するのと同様の方法（ODBC、ADODB、ADO.NET、その他）で InfoUnity2 に接続する。一部の API は管理者権限（master アカウント）を必要とする。

通常の SQL を実行するのと同様の方法で、"infounity system ~" で始まるクエリを実行する。実行結果は結果セットとして表形式で返される。通常の結果セットを扱うのと同じ方法で値を取得する。

get_all 系

```
infounity system/administration/get_all_entities
infounity system/administration/get_all_views
infounity system/administration/get_all_procedures
infounity system/administration/get_all_locations
infounity system/administration/get_all_users
infounity system/administration/get_all_groups
```

結果スキーマ

番号	列名	型	内容	例
1	NAME	文字列	名前	Products
2	DESCRIPTION	文字列	説明	製品マスタ
3	FOLDER	文字列	フォルダ	/masters/

引数無しで実行する。オブジェクトだけ、ツリー全体を横断して、全て一括で取得する。名前と説明とフォルダが返される。空のフォルダを取得することはできない。

get 系

```
infounity system/administration/get_entities(folder)
infounity system/administration/get_views(folder)
infounity system/administration/get_procedures(folder)
infounity system/administration/get_locations(folder)
infounity system/administration/get_users(folder)
infounity system/administration/get_groups(folder)
```

結果スキーマ

番号	列名	型	内容	例
1	NAME	文字列	名前	mytable
2	DESCRIPTION	文字列	説明	/フォルダ

指定したフォルダに存在するオブジェクトまたはフォルダを取得する。名前と説明が返される。名前の先頭がスラッシュで始まる行はフォルダである。それ以外の行はオブジェクトである。最上位階層を検索するには、*folder* に '/' を与えて実行する。空文字列や NULL 値でも同様の結果が返されるが、推奨されない。example というフォルダ内を検索するには、'/example' または '/example/' を与えて実行する。文字列最後のスラッシュは、実行結果に影響を与えないので、あってもなくても良い。*folder* の先頭はスラッシュで始める。より深い階層を検索するには、複数のフォルダ名をスラッシュで区切って連結する。ツリー階層を構築するには、引数を変えながら、再帰的に繰り返しクエリを実行する。